

韓国農林畜産食品部プレスリリース（2018年11月20日18:24）

全羅北道群山、忠清南道舒川における野鳥糞便より H5 型鳥インフルエンザ (AI) 抗原検出- AI 緊急行動指針 (SOP) により防疫措置-

出典 URL :

<http://www.mafra.go.kr/mafra/293/subview.do?enc=Zm5jdDF8QEB8JTJGYmJzJTJGbWFmcmEIMkY2OCUyRjMxODgzOSUyRmFydGNsVmll dy5kbyUzRg%3D%3D>

（機械翻訳に基づく仮訳）

□ 農林畜産食品部（長官：イゲホ）は 11 月 13 日全羅北道（ぜんらほくどう）群山（くんさん）金剛号と、11 月 15 日忠清南道（ちゅうせいなんどう）舒川（そちよん）ポンソン貯水池で採取した野鳥糞便に対する検査結果、11 月 20 日 H5 型 AI 抗原が検出されたと明らかにした。全清北道群山金剛号の野鳥糞便からは H5N3 型、忠清南道舒川ポンソン貯水池の野鳥糞便からは H5N9 型の抗原が検出された。

○これにより農林畜産食品部は、AI 緊急行動指針 (SOP) により抗原が検出された地点を中心に、

- ①半径 10km の地域を「野生鳥獣類予察地域」に設定
- ②地域内の家きん及び愛玩鳥等の予察・検査、移動制御および消毒
- ③渡り鳥の飛来地と小河川などの近くの農家の防疫強化
- ④当該自治体に広域噴霧器など防疫車両を総動員して、毎日消毒を行うなど防疫措置を講じた。

※高病原性の有無など最終判定には 1~2 日所要予定